The Celestron Reducer/Corrector Lens for SCT Telescopes

レデューサー 0.63x SCT用
取扱説明書

日本語 v1　　CE-AARC-94175

イントロダクション

想像してみてください。月や惑星の高倍率観測に適した長い焦点距離の望遠鏡と、深宇宙（ディープスカイ）の観測や天体写真に適した短い焦点距離の望遠鏡。この 2 つの機能を、1 台の鏡筒で実現できるとしたら？ Celestron レデューサー / コレクターレンズは、まさにそれを可能にしました。Celestron シュミットカセグレン望遠鏡（SCT）専用に設計されたこのユニークなレンズは、望遠鏡の焦点距離と F 値を 37% 短縮します。これにより、お手持ちの長焦点距離の望遠鏡を、高速で広視野な短焦点距離へと変貌させます。F/10 の鏡筒は F/6.3 で、F/11 の鏡筒は F/7 で使用できるようになります。同じ接眼レンズを使用した場合でも、より低倍率が得られ、より広い視野での観測が実現します。写真撮影ではより広い視野を一度に捉えることができ、露出時間も大幅に短縮されます。

CE-AARC-94175　レデューサー 0.63x SCT 用は Celestron EdgeHD ズ鏡筒シリーズとは互換性がありません。
Celestron レデューサー 0.63x SCT 用は、焦点距離と F 値を短縮するレデューサーとしての機能に加え、像面湾曲を大幅に低減するコレクターとしての役割も果たします。

Celestron レデューサー 0.63x SCT 用は、天体写真用途だけにとどまらない利点を提供します。地上写真においては、F 値が速くなることで、低 ISO 感度設定のデジタルカメラを使用する場合や、暗い環境下で撮影する場合でも、より短い露出時間でノイズを抑えた適切な撮影が可能になります。さらに、このレンズはフルマルチコーティングされており、最大限の光透過率を実現します。これにより、視野のほぼ全体にわたる均一な照明が提供されます。

取り付け方法

レデューサー 0.63x SCT 用の取り付けは簡単です。

1. シュミットカセグレン望遠鏡のリアセルから、現在取り付けられているすべてのアクセサリー（ビジュアルバック、接眼レンズーなど）を取り外してください。C11 または C14 鏡筒をお使いの場合はすべてのアクセサリーを取り外しますが、プレートアダプター（通常は望遠鏡のリアセルに固定されている部分）は望遠鏡のリアセルに付けたままにしておいてください。

2. レデューサー 0.63x SCT 用を、望遠鏡のリアセル（または C11 および C14 の場合はプレートアダプター）のネジ山に合わせ、時計回りに回転させてしっかりと締まるまでねじ込んでください。

3. レデューサー 0.63x SCT 用の外側のネジ山に、目的のアクセサリー（T アダプター、ビジュアルバックなど）を合わせてください。アクセサリーを時計回りに回転させ、しっかりと締まるまでレデューサーにねじ込んでください。

これで、Celestron レデューサー 0.63x SCT 用の取り付けは完了し、望遠鏡での使用準備が整いました。

レデューサー 0.63x SCT 用の使用

ただし、レデューサーにより望遠鏡の焦点距離が短縮されるため、以下の点にご留意ください。

・倍率と実視野の変化：同じ接眼レンズを使用した場合でも、倍率が下がり、実視野が広くなります。
・計算時の留意点：倍率と実視野を計算する際は、レデューサー装着後の短縮された焦点距離（元の焦点距離 × 0.63）を用いて計算する必要があります。

レデューサー 0.63x SCT 用を取り付けた場合、最もシャープな焦点位置は、レデューサーを取り付けない状態での焦点位置から大きく変化します。特定の接眼レンズを使用した場合の新しい焦点位置は、元の最良の焦点位置から、ピント調整ノブを反時計回りに約 3 ～ 4 回転させたところになります。この回転数は目安であり、正確なピント位置は実際に鏡筒を覗いて像を確認しながら行ってください。

Celestron レデューサー 0.63x SCT 用は、シュミットカセグレン望遠鏡に共通するわずかな像面湾曲を軽減しますが、完全に排除するわけではありません。低倍率での眼視観察において、視野の大部分で可能な限りシャープな像を得るためには、まず視野の中央にある星に焦点を合わせてください。この際、必ずピント調整ノブを反時計回りに回してシャープな焦点位置に入ってください。最もシャープになった焦点位置から、フォーカスノブをさらに反時計回りに約 1/12 回転させてください。

天体写真撮影における最適な焦点を合わせるためには、デジタル一眼カメラのビューファインダー（またはライブビュー画面）の中央部で、像が可能な限りシャープになるようにピント調整ノブを回します。この際、必ずピント調整ノブを反時計回りに回してシャープな焦点位置に入ってください。中央の像が最もシャープになったら、その位置からピント調整ノブをさらに反時計回りに約 1/24 回転させてください。

このレデューサー 0.63x SCT 用を装着しても視野は非常に平坦に近くなるため、常に望遠鏡に装着したままにしておくことができます。高倍率での眼視観測や写真撮影においても、視野全体（端まで）がより平坦な像になります。ただし、高倍率の接眼レンズを使用した拡大撮影を計画している場合は、レデューサーを取り外すことをご検討ください。

注：レデューサー 0.63x SCT 用を装着すると、望遠鏡の焦点距離が短縮されます。そのため、ケラレなどの光学的な問題を防ぐため、焦点距離が 35mm よりも長い接眼レンズは使用しないでください。

お手入れとメンテナンス

Celestron レデューサー 0.63x SCT 用には、追加の副次的機能として、望遠鏡の防塵蓋の役割があり、様々な汚染物質がリアセルから光学系に入るのを防ぎます。使用しないときは、必ずレデューサー 0.63x SCT 用のレンズの外側に付属のプラスチック製レンズカバーを取り付けてください。これにより、レンズ自体へのほこりの付着を最小限に抑えることができます。レデューサーを望遠鏡から取り外す場合は、レデューサー 0.63x SCT 用の両側にプラスチック製カバーを両方とも取り付けてください。

レデューサー 0.63x SCT 用を取り扱う際は、レンズ面自体には絶対に触れないよう、十分ご注意ください。指紋や皮脂が付着すると、レンズの汚れや性能の低下につながります。

光学機器を清掃する際は、光学部品を損傷しないよう特に注意を払う必要があります。時間の経過とともにほこりが溜まった場合は、以下の手順でエアダスターなどを使用してほこりを取り除いてください。まずレデューサー 0.63x SCT 用の両側からキャップを取り外してください。レンズの各面に、エアダスターの空気の流れを約 2 ～ 4 秒間、噴射してください。

エアダスターでのほこりの除去では汚れが落ちない場合、洗浄液と専用のレンズティッシュを使用して清掃を行うことができます。洗浄液には、市販のカメラレンズクリーナーを使用するか、ご自身で調合することが可能です。優れた洗浄液は、イソプロピルアルコール (IPA) と蒸留水を混ぜたものです。イソプロピルアルコール 60%、蒸留水 40% の割合で混ぜてください。

洗浄液を染み込ませた専用ティッシュで、レンズの汚れを優しく拭き取ってください。汚れを拭き取った後、新しいきれいな専用ティッシュを用意し、レンズに残った洗浄液の残留物を完全に拭き取ってください。

⚠ 警告　太陽をのぞいてはいけません。失明の危険があります。

天体望遠鏡、ファインダー、接眼レンズなどで太陽を絶対にのぞいてはいけません。失明の危険があります。

⚠ 注意

- ⊘ 本製品の動作中は、操作する部分を除き経緯台本体に触れないようにしてください。
  手をはさむなどケガの原因になる場合があります。
- ⊘ レンズのキャップを外したままで、直射日光の下に製品を放置しないでください。
  望遠鏡やファインダーなどのレンズにより、火災発生の原因となる場合があります。
- ⊘ 移動中や歩行中に製品を使用しないでください。衝突や転倒など、ケガの原因となる場合があります。
- ⊘ キャップ、乾燥剤、包装用ポリ袋などを、お子様が誤って飲み込むことのないようにしてください。

お手入れ・保管について

- ● 炎天下の自動車の中やヒーターなど高温の発熱体の前に製品を放置しないでください。
- ● 本体を清掃する際に、シンナーなど強い有機溶剤を使用しないでください。
- ● 製品に、雨、水滴、泥、砂などがかからないようにしてください。
- ● レンズにほこりやゴミがついた場合は、市販のブロアーなどで吹き飛ばしてください。
- ● レンズ表面は手で直接触れないようにしてください。指紋などでレンズが汚れた場合はブロアーでほこりやゴミを吹き飛ばしてから、市販のカメラ用レンズクリーナーとレンズクリーニングペーパーを使い、軽く拭きとってください。レンズ表面は大変デリケートですので、清掃の際はキズをつけないよう十分ご注意ください。
- ● 保管する際は直射日光を避け、風通しの良い乾燥した場所に保管してください。

保証内容について

このたびはCelestron製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品の保証内容について、下記の通りご案内いたします。
ご使用前に必ずお読みいただき、大切に保管してください。

■ 初期不良について

ご購入日より 3ヶ月以内 に発生した不具合で、弊社にて初期不良と認められた場合は、無償で商品を交換いたします。
※ 保証対応には、ご購入時のレシートや納品書などの購入証明書が必要です。
　保証書の代わりとなりますので、紛失しないよう大切に保管してください。

■ 保証期間

メーカーの定める操作マニュアルに従い、通常環境下で使用されている製品に発生した不具合については
ご購入日より2年間、無償で修理対応いたします。（電子部品に関しては1年間）

■ 無償保証の適用外となるケース

以下のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても無償保証の対象外となり、有償での修理対応となります。

A）通常の使用方法以外での操作や取り扱いによる故障や損傷
B）お客様による改造、または不適切な修理に起因する故障
C）地震・火災・水害などの天災や不可抗力による損傷
D）購入証明書（レシートや納品書等）が提示できない場合

■ 修理について

修理のご依頼は、購入証明書（レシート・納品書等）を添えて、ご購入店舗または弊社サポート窓口までご連絡ください。
修理品の送料はお客様のご負担となります。輸送中の破損・紛失について、弊社は一切の責任を負いかねます。
修理に必要な部品について、製品の販売終了後から5年間を目安に保管いたします。ただしメーカーの部品供給状況により前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
修理により交換された部品や旧製品は、有償・無償を問わずご返却いたしません。

■ 免責事項

本製品の故障、またはその使用により発生したお客様の損害（営業損失・データ損失等）については、
直接的・間接的を問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。
弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品の故障に関する損害賠償責任は、ご購入金額を上限といたします。
内容は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ窓口

株式会社アーキサイト サポートセンター
弊社ホームページのお問い合わせフォームにて
受け付けております。
https://archisite.co.jp/contacts/celestron/

日本正規販売代理店

株式会社アーキサイト

〒110-0006
東京都台東区秋葉原5-9 明治安田生命秋葉原ビル
https://archisite.co.jp/